

第1回北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン懇談会議案顛末

・ 日 時 平成23年12月21日(水)
午後3時00分～4時20分
・ 場 所 名寄市民会館 33号室

1 開 会

(名寄市進行)

2 あいさつ

(加藤名寄市長・牧野士別市長)

3 委員紹介…資料1

(懇談会委員・事務局自己紹介)

4 共生ビジョン懇談会設置要綱について…資料2

(名寄市説明)…委員の職務、組織、任期、座長・副座長の規定について説明。

5 座長及び副座長の選出について

事務局腹案で座長が承認され、座長の指名により副座長が承認された。

座長……清水池 義治 委員(以降、清水池座長の進行)

副座長…千葉 道夫 委員

6 議 題(質疑応答別途)

(1) 定住自立圏構想の概要について…資料3

(士別市説明)…国の制度について説明。

(2) これまでの経過について…資料4

(士別市説明)…北・北海道中央圏域形成の経過について説明。

(懇談会委員)

協定の締結は11町村それぞれ異なっているとの説明だが、共生ビジョンは1つでよいのか？

(士別市回答)

すべての項目を網羅したものを中心市が1つ作成する。

(3) スケジュールについて…資料5

(名寄市説明)…共生ビジョン作成までの懇談会スケジュールについて説明。

(4) 共生ビジョンの構成について…資料6

(士別市説明)…北・北海道中央圏域の共生ビジョンの構成について説明。

(懇談会委員)

上川中部定住自立圏共生ビジョンの元になっているものは何か？共生ビジョン作成にあたり参考にするものはあるのか？

(土別市回答)

資料3-3P11の定住自立圏推進要綱では、定住自立圏及び市町村の名称、定住自立圏の将来像、定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組など、共生ビジョンに記載すべき事項が示されている。

(懇談会委員)

共生ビジョンは中心市が総務省の通知に基づいて作成したか？

(名寄市回答)

共生ビジョンは中心市が作成することになっており、総務省の通知に基づき作成している。共生ビジョンは行政がすべて作成するのではなく、圏域住民の意見を反映しながら作成する。そのために懇談会でご意見を伺うことになる。

(懇談会委員)

懇談会の役割は、共生ビジョンの構成にある具体的取組のみに意見を言うだけでよいのか？

(名寄市回答)

共生ビジョンの目的をどこにもっていくかを議論していただきたい。それぞれの市町村の特色があるため、どのように一つの将来像を描いていくかが議論の集中点となると思われるが、これが一番難しいことである。

例えば稚内市の場合、内陸の取り組みと沿岸部の取り組みを一緒にすることが難しかったと想定される。北・北海道中央圏域も内陸と沿岸部が一緒の圏域であるため、どのような将来像をめざしていくか、難しいことではあるが議論していただきたい。その後、共生ビジョンは中心市が作成することになるが、13市町村で議論して一つにまとめていきたい。短い期間であるがなんとか協力をお願いしたい。

共生ビジョンに対する意見は、具体的取組だけではなく、将来像も含めて意見をいただきたい。

(懇談会委員)

稚内市の共生ビジョンでは南宗谷が入っているが、2つの圏域に入ることは可能なのか？

(名寄市回答)

2つの圏域にまたがっても良いが、同じ項目での協定は結べない。例えば、病院の項目において、内科は稚内市、外科は名寄市ということは可能である。しかし、内科で両市と協定を結ぶことはできない。

7 その他

(名寄市説明)

既に各市町村担当者から話がされているかと思われるが、懇談会委員としての謝礼は年5,000円を予定している。支払時期については平成24年3月を予定している。

次回懇談会の日程については、1月16日の週か23日の週を予定している。

(懇談会委員)

次回懇談会の日程が決まれば、できるだけ早くお知らせ願いたい。仕事をもっている委員も多くいると思われるため早い方がよい。

(名寄市回答)

早い段階で日程周知に努めていきたい。また、会議資料についても事前配布に努めていきたいのでご協力をお願いしたい。

8 閉会